

1989 (毎月1回)
発行

6月号

(村の面積)

332.60km²

発行 福井県大野郡和泉村

広報 いすみ

(平成元年6月1日現在)

村の人口	
総人口	901人
男	445人
女	456人
出生	1人
死亡	1人
転入	0人
転出	4人
世帯数	297世帯



22日ぶりに汽車がつく

新緑まつり盛大に行なわれる

五月二日午後五時ごろ国道一五八号(大野市下唯野地係)で道路の崩壊のため不通になっていた越美北線が五月二十四日に開通しました。

新緑まつりの開催期間中の開通とあって、二十八日には岸洋子シャンソンコンサートや山菜大学・新緑市場が行なわれた中で、JR西日本の特別列車シャンソンエキスプレス号が九頭竜湖駅に着くと閑散としていた駅は、地元の娘さんによる出迎えで今までの活気が戻って来ました。

しかし、国道一五八号については、大型車が通行可能な仮道路が六月中旬に開通する予定です。

行事お知らせ

運転者講習会

○六月十五日(木)午後七時より

○中竜会館

六日に出席できなかつた方は受講してください。

お礼

五月十三日、空カン回収にご参加くださつた皆様にお礼申し上げます。

みんなで越美北線を利用しよう

VS
県・観光キャンペーンガール
勝手に新緑娘



ワラ
笑
び (山菜大学より)

新緑まつり スナップ



むらびと
村人に希望 うた
心に詩を



真剣 // 試食



山菜講議



また、四季を通したイベントや各種行事用のカラフルなテント三十四張（事業費百九十七万円）を整備いたしました。

昭和六十三年度一般コミュニティ助成事業（自治宝くじ助成）で、天狗岩ファミリーパーク内に、村内外の子供達にレクリエーションの場を提供するため、事業費二百二十万円で遊具五基を設置しました。

遊具・イベント用 テントを整備

義平公の生いたちと 待賢門の戦い

源義平は、義朝の長男として鎌倉の亀ヶ谷で永元元年に生まれた。母は三浦大介義明の娘と云えられている。

当時、父義朝は源氏の嫡流として平氏に押されがちな家運を美家當時の盛時に戻そうと野心に燃え生活の中心を京へ移していた。そのため、義平は多忙な父と離れて幼年期を母方の三浦一族に育てられ勇猛な坂東武者の中で鍛えられ成人した。

久寿二年、義平十五歳の時叔父の義賢を討ちそれ以来若干ながら数々の武功を誇り、悪源太（強い源氏の長男の意味）の異名でその武勇が知れ渡る様になつた。

平治元年、平清盛とその子重盛が熊野詣に出かけた隙をついて義朝は藤原信頼と結び兵を挙げた。これが平治の乱である。

義平も父拳兵の知らせを聞き坂東武者を引き連れ参戦した。上京した義平に信頼は「望み通りの国も、望み通りの官位も与えるので申して見よ」と云うのに対し「この先の戦さがどうなるか分らないいうちに、大国の守と成り高官に上

がつたとて甲斐なきことでござる、官位などより軍勢を賜りとうござる。」と言い切った。當時、父義朝は源氏の嫡流として平氏に押されがちな家運を美家當時の盛時に戻そうと野心に燃え生活の中心を京へ移していた。そのため、義平は多忙な父と離れて幼年期を母方の三浦一族に育てられ勇猛な坂東武者の中で鍛えられ成人した。

久寿二年、義平十五歳の時叔父の義賢を討ちそれ以来若干ながら数々の武功を誇り、悪源太（強い源氏の長男の意味）の異名でその武勇が知れ渡る様になつた。

平治物語によると、「逃げ出した信頼に激怒した義朝は「悪源太はおらぬか、信頼といふ大臆病人が逃げ出し待賢門が破れたぞ、あの敵を追い出せ」と命じた。義平は「かしこまりて候う」と坂東武者十六騎を引き連れ馬をあおつて重盛五百騎の中に突つかつていった。「大将は誰ぞ名乗れかく申すは清和天皇九代の後裔左馬頭義朝の嫡子鎌倉の悪源太義平なり、いざ見参せん」と単騎馬を飛ばして左近の桜、右近の橘の回りを七八度と重盛を追い回した。かなわずと見た重盛は一たん引き返し、新手五百騎を加えて再突入したがこれを見て義平以下十六騎はひるむこと無く突進し、義平は小脇に弓をは

がつたとて甲斐なきことでござる、官位などより軍勢を賜りとうござる。」と言い切った。當時、父義朝は源氏の嫡流として平氏に押されがちな家運を美家當時の盛時に戻そうと野心に燃え生活の中心を京へ移していた。そのため、義平は多忙な父と離れて幼年期を母方の三浦一族に育てられ勇猛な坂東武者の中で鍛えられ成人した。

久寿二年、義平十五歳の時叔父の義賢を討ちそれ以来若干ながら数々の武功を誇り、悪源太（強い源氏の長男の意味）の異名でその武勇が知れ渡る様になつた。

平治物語によると、「逃げ出した信頼に激怒した義朝は「悪源太はおらぬか、信頼といふ大臆病人が逃げ出し待賢門が破れたぞ、あの敵を追い出せ」と命じた。義平は「かしこまりて候う」と坂東武者十六騎を引き連れ馬をあおつて重盛五百騎の中に突つかつていった。「大将は誰ぞ名乗れかく申すは清和天皇九代の後裔左馬頭義朝の嫡子鎌倉の悪源太義平なり、いざ見参せん」と単騎馬を飛ばして左近の桜、右近の橘の回りを七八度と重盛を追い回した。かなわずと見た重盛は一たん引き返し、新手五百騎を加えて再突入したがこれを見て義平以下十六騎はひるむこと無く突進し、義平は小脇に弓をは

がつたとて甲斐なきことでござる、官位などより軍勢を賜りとうござる。」と言い切った。當時、父義朝は源氏の嫡流として平氏に押されがちな家運を美家當時の盛時に戻そうと野心に燃え生活の中心を京へ移していた。そのため、義平は多忙な父と離れて幼年期を母方の三浦一族に育てられ勇猛な坂東武者の中で鍛えられ成人した。

久寿二年、義平十五歳の時叔父の義賢を討ちそれ以来若干ながら数々の武功を誇り、悪源太（強い源氏の長男の意味）の異名でその武勇が知れ渡る様になつた。

平治物語によると、「逃げ出した信頼に激怒した義朝は「悪源太はおらぬか、信頼といふ大臆病人が逃げ出し待賢門が破れたぞ、あの敵を追い出せ」と命じた。義平は「かしこまりて候う」と坂東武者十六騎を引き連れ馬をあおつて重盛五百騎の中に突つかつていった。「大将は誰ぞ名乗れかく申すは清和天皇九代の後裔左馬頭義朝の嫡子鎌倉の悪源太義平なり、いざ見参せん」と単騎馬を飛ばして左近の桜、右近の橘の回りを七八度と重盛を追い回した。かなわずと見た重盛は一たん引き返し、新手五百騎を加えて再突入したがこれを見て義平以下十六騎はひるむこと無く突進し、義平は小脇に弓をは



石泥棒の情報を！

朝日駐在所

最近、下大納から早稲谷、伊勢峠を通り大谷秋生線に抜ける林道沿いにおいて山石が頻繁に盗まれています。

役場・営林署・警察において、犯人検挙のため捜査中ですが山中深くしかも深夜の犯行があるので捜査が困難な状況です。

人権擁護委員制度を御存じですか

六月一日は人権擁護委員法が施行された日です

国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員制度の始まりです。

全国の人権擁護委員は、六月一日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんとともに一層の人権思想の啓発に努めることを申し合せております。

県は毎月第一・第四土曜日を閉庁曜日を閉庁します。ただし、県立病院や学校関係など一部の機関では毎土曜

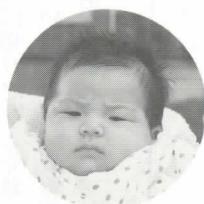
詳しいことについては、各機関へおたずねください。

県は毎月第一・第四土曜日を閉庁



税務職員募集

◇受験資格 昭和44年4月2日～昭和47年4月1日生まれの人



ひでゆき
英之くん

社会保険事務所は

第二・第四土曜日を閉庁

五月二十七日より、各社会保険事務所は、第二、第四土曜日が休みとなります。

◆問合せ先は大野税務署へ
〒9112 大野市城町七番二十八号
電話 66-12180番
と同様です。
請をし、知事の認可を受ければ加入できることは、今まで

大ざれ、昭和六十三年四月から、當時一人、二人の従業員（常勤の役員も含む）を使用する法人事業所なども、業種に関係なく、すべて社会保険に加入することが義務づけられました。

なお、五人未満の個人経営の事業所と五人以上であっても個人経営のサービス業の一部などについては、強制加入とはなりませんが、従業員の半数以上の同意を得て加入申込はぜひ参加してください。

お問い合わせは、近くの発起人まで。 溪流釣り・鮎釣り・海釣り等、川で遊ぶことの大好きな人はぜひ参加してください。

お問い合わせは、近くの発起人まで。 溪流釣り・鮎釣り・海釣り等、川で遊ぶことの大好きな人はぜひ参加してください。

お問い合わせは、近くの発起人まで。 溪流釣り・鮎釣り・海釣り等、川で遊ぶことの大好きな人はぜひ参加してください。

◇試験の程度 高校卒業程度
◇受付期間 7月5日(水)～7月12日(水)
第一次試験 10月1日(日)
第二次試験 11月6日(日)～17日(日)

◇試験の程度 高校卒業程度
◇受付期間 7月5日(水)～7月12日(水)
第一次試験 10月1日(日)
第二次試験 11月6日(日)～17日(日)

◇問い合わせ先は大野税務署へ
〒9112 大野市城町七番二十八号
電話 66-12180番
と同様です。
請をし、知事の認可を受ければ加入できることは、今まで

お問い合わせは、近くの発起人まで。 溪流釣り・鮎釣り・海釣り等、川で遊ぶことの大好きな人はぜひ参加してください。

◆お問い合わせ
名前 住所 年齢
吉村 英之 上大納 (56歳)
藤市 昌巳 長男
上大納 (56歳)

▲あかちゃん
名前 保護者 続柄 住所 年齢
吉村 英之 昌巳 長男
朝日